

ダイワ・ブラジル株式オープン 「リオの風」 最近の基準価額の動きについて

2012年5月14日

「ダイワ・ブラジル株式オープン 「リオの風」」の運用状況について、5月11日現在のデータに基づきお知らせいたします。

《基準価額・純資産の推移》

2012年5月11日現在

基準価額	6,517 円
純資産総額	296億円

期間別騰落率

期間	ファンド
1カ月間	-9.3 %
3カ月間	-17.0 %
6カ月間	-5.9 %
1年間	-28.3 %
3年間	----
5年間	----
年初来	+1.8 %
設定来	-34.8 %



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。

※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。

※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

【基準価額変動要因】

5月11日時点の当ファンドの基準価額は6,517円となっており、2月以降で10.7%の下落となっています。この下落率を株価の変動による要因と為替の変動による要因に分解すると、株式要因が約▲9.2%※、為替要因が約▲0.5%になっています。※ 株式要因には、DR(預託証券)のブラジル・レアルの為替変動が含まれています。

基準価額変動の要因分析(期間:2012年1月31日～2012年5月11日)

2012年5月11日の基準価額(A)	6,517円	(内訳)	ポートフォリオ	▲ 709円
2012年1月31日の基準価額(B)	7,299円		株式要因	▲ 672円
支払い分配金(C)	0円		為替要因	▲ 37円
基準価額の変動額(A-B+C)	▲ 783円		分配金	0円
			信託報酬、その他	▲ 74円

※「基準価額変動の要因分析」は、簡便法に基づく概算値であり、実際の数値とは異なる場合があります。また、その他には、設定・解約の影響、複合要因などが含まれます。表示桁未満の四捨五入等の関係で各欄の数値の合計が基準価額の変動額の数値と合わないことがあります。

※ 上記データは過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡す「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■分配金は、収益配分方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

【為替の下落について】

ブラジル・レアルの対米ドル相場は、2月までは投資家のリスク選好の高まりを背景に上昇しましたが、3月以降は下落が継続しています。対円でみても、2月末に47円台後半をつけた後、5月11日では40円台後半までレアル安が進みました。ブラジル経済の回復ペースが鈍いことや、国内製造業が輸入品との競争に苦戦しているとしてブラジル政府が通貨安誘導姿勢をやや強めたことに加え、ブラジル中央銀行の積極的な利下げと追加利下げ期待、欧州債務問題の再燃に伴う世界的なリスク回避姿勢の強まりなどが複合的に影響しました。

【株式市場について】

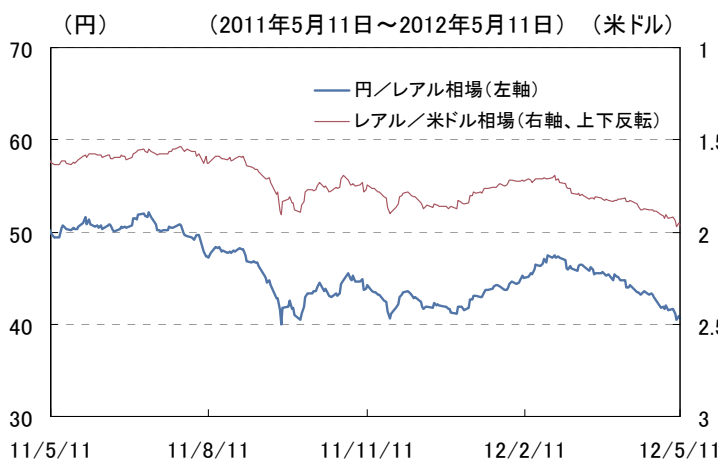
ブラジル株式市場はボベスパ指数(現地通貨ベース)で4.9%下落しました(2012年1月30日～5月10日、現地)。2月から3月中旬にかけては世界的に投資家のリスクを選好する傾向が続き、続伸しました。利下げ幅が拡大したことから積極的な追加利下げへの期待が高まったことやギリシャ債務再編問題に対する懸念の後退、堅調な米国経済指標などを手がかりに上昇しました。しかし、3月下旬以降は調整色の強い値動きとなりました。ボベスパ指数は年初からの上昇率が20%超となり、高値警戒感も台頭する中で、利下げ期待の後退やインフレ懸念の台頭、世界景気の下振れ懸念の再燃などから反落しました。4月には、米国追加緩和策に対する期待が後退したこと、スペイン・イタリア国債利回りの急上昇を受けて欧州債務問題の再燃やフランスやオランダの政局不安、国内においては、政府の銀行業界への貸出金利引き下げ圧力や大手行の軟調な1-3月期決算などが重なり、投資家心理の悪化につながりました。5月に入ると、世界景気回復の失速懸念やギリシャの政局不安からリスク資産を回避する動きが一層強まり、ボベスパ指数は1月中旬以降初めて60,000ポイントを割り込みました。

【今後の運用方針】

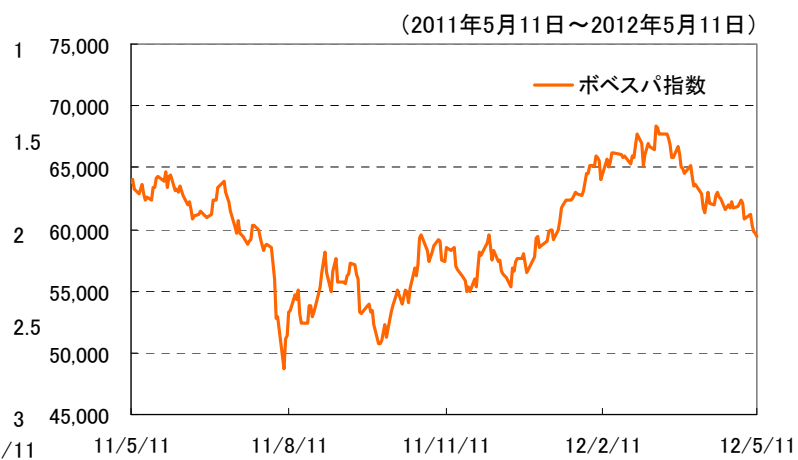
ブラジル経済は、足元で消費面は好調ですが、生産活動の不振が続いています。政府は減税や公的金融機関による低金利融資拡大など製造業への追加支援策を発表したほか、中央銀行は政策金利を0.75%ポイント引き下げ9.00%としました。前回3月の議事録において利下げ打ち止めを示唆していましたが、今回は利下げ打ち止めに関する文言が見られず、追加利下げに含みを残す内容であったと考えます。外部環境については、欧州債務問題はフランス、オランダ、ギリシャなどの政局の影響が懸念されます。米国や中国の景気は回復の動向が注目されますが、景況感の悪化は政策期待へとつながり、市場心理の下支えになると考えられます。ブラジル株式市場は、引き続き、欧州の政局や債務問題、世界経済の動向などの影響を受けてリスク回避の動きが強まれば、相場が下振れする可能性が想定されます。しかし、過度に悲観的な見方が後退し、景気刺激策の効果が確認されるにしたがって、経済とともに拡大が期待される企業業績を反映する形で、堅調に推移していくとみています。こうした点を踏まえて、海外環境や国内インフレの動向、企業業績等を慎重に見極め、ポートフォリオ構築にあたっては、個別企業の財務内容や株価水準等も勘案し、中長期的に成長が見込まれる銘柄に投資していく方針です。

以上

為替の推移



株式相場の推移



(出所)ブルームバーグ

ダイワ・ブラジル株式オープン ーリオの風ー

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- ブラジルの株式に投資し、信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

1. ブラジルの株式^(注)に投資します。

(注)「株式」…DR（預託証券）を含みます。

- ◆ブラジル株式市場の主要銘柄については、DRが多数発行されています。当ファンドではDRにも投資を行なうため、ブラジル・リアル以外の通貨建資産を組入れますが、DRの価格はブラジル・リアルの為替を反映したものととなります。
- ・経済情勢や業界動向等の分析を行なうとともに、個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等を総合的に勘案してポートフォリオを構築します。

2. ブラジルの株式の運用は、イタウ・アセットマネジメントの助言を受け、ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドが行ないます。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の変動要因は、以下のとおりです。

「株価の変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク、税制に伴うリスク等）」

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用	
購入時手数料	販売会社が別に定めるものとします。 購入時の申込手数料の料率の上限は、 3.15%（税抜3.0%） です。
信託財産留保額	ありません。
投資者が信託財産で間接的に負担する費用	
運用管理費用 （信託報酬）	毎日、信託財産の純資産総額に対して 年率1.764%（税抜1.68%） ※運用管理費用は、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支弁します。
その他の費用・ 手数料	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、 資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。 ※ブラジル国内株式投資に伴い、ブラジル・リアルを取得する為替取引に対しては金融取引税が課されます。なお、基準日現在、税率は0%です。ブラジルにおける当該関係法令等が改正された場合には、前記の取扱いが変更されることがあります。 ※「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、 上限額等を示すことができません。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。

販売会社:

大和証券

Daiwa Securities

設定・運用:

大和投資信託

Daiwa Asset Management

商号等 大和証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号
加入協会 日本証券業協会
社団法人日本証券投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

商号等 大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
加入協会 社団法人投資信託協会
社団法人日本証券投資顧問業協会